



宇治田原町
議会だより

No.74

2013.2.1

祝 成人式 <<目次>>

- 臨時会…………… 2P
- 12月定例会…………… 4P
- 一般質問…………… 6P
- 12人からのひとことメッセージ… 12P
- インタビュー（外山雄介さん）…… 13P



構成決まる

第1回 臨時会



臨時会

平成24年第1回臨時会は、11月15日に召集され、会期を1日とした。議員選挙後の初議会で、議長に田中修議員、副議長に垣内秋弘議員が選出された。その他、常任委員会など、議会の構成が決まった。また、監査委員には、青山美義議員が提案され、賛成多数（賛成7、反対3）で、教育委員は全会一致で、同意した。



監査委員
青山 美義



副議長
垣内 秋弘



議長
田中 修

職名			氏名			住所								
府後期高齢者医療広域連合議会議員	城南衛生管理組合議会議員	京都地方税機構議会議員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員		
			田中	山内	原田	今西	内田	稲石	奥村	安本	青山	垣内	谷口	上林
			修	実貴子	周一	久美子	文夫	義一	房雄	修	美義	秋弘	重和	昌三
			郷之口	銘城台	緑苑坂	郷之口	郷之口	荒木	禅定寺	立川	湯屋谷	立川	南	銘城台

新しい議会



臨時会

議会運営委員会

- 委員長 垣内秋弘
- 副委員長 上林昌三
- 委員 今西久美子
- 委員 原田周一
- 委員 稲石義一

広報編集委員会

- 委員長 原田周一
- 副委員長 奥村房雄
- 委員 垣内秋弘
- 委員 上林昌三
- 委員 今西久美子
- 委員 山内実貴子

人事案件

○教育委員会委員の任命同意



内田 一孝 氏

(郷之口)

任期 平成24年11月26日～平成28年11月25日

【同意 全員賛成】

新名神高速道路建設に関する 特別委員会を設置

新名神高速道路建設に伴い、幹線道路、都市計画道路等の総合的な道路交通体系の確立や地域活性化に向けた調査研究を行うため、「新名神高速道路建設に関する特別委員会」を新たに設置した。

委員長に垣内秋弘議員、副委員長に上林昌三議員を選任し、委員は、12名全員で構成することとした。



平成24年度 補正した予算 災害復旧に5,538万円 くつわ池、農地など

今回、一般会計の補正の主なものは次の通り。

昨年8月14日未明に発生した集中豪雨により被災した農地や林道（くつわ池）の災害復旧工事費（5,538万円）で、各施設が有する機能の復旧を図る工事を実施する。

また、福祉サービスの需要増加に対応するため、障害者自立支援法に基づいて実施する各種事業に要する経費（2,722万円）を増額し、障がい者福祉の充実を図る。



被災農地（禅定寺）



決壊したくつわ池

平成24年第4回定例会は、12月7日から18日まで開催した。表彰関係1件、予算関係7件（補正6件、専決1件）、一般議案2件、人事案件3件、報告1件が提案され、原案通り同意、可決した。さらに、地方自治法の改正をうけ、議会委員会条例、及び議会議規則の改正を可決した。また、一般質問は前回同様「一問一答」方式で行い、6人の議員が活発な議論を展開した。

(千円以下切捨て)

会計予算名	補正額	補正後の総額	審議結果	
一般会計（専決）	760万円	38億5,027万円	承認 全員賛成	
一般会計	8,830万円	39億3,857万円	可決 全員賛成	
国保会計	718万円	11億4,187万円	可決 全員賛成	
後期高齢者医療会計	191万円	8,555万円	可決 賛成9：反対2	
介護保険会計	△73万円	6億9,205万円	可決 全員賛成	
公共下水道会計	917万円	5億4,560万円	可決 全員賛成	
水道会計	収益的支出	77万円	1億8,863万円	可決 全員賛成
	資本的支出	545万円	2億5,037万円	可決 全員賛成

人事案件

○公平委員の選任同意



藤永 弥氏
(禅定寺)



谷川 利明氏
(奥山田)

任期 平成24年12月22日～平成28年12月21日

【同意 全員賛成】

○教育委員会委員の任命同意



西川 真由美氏
(岩山)

任期 平成24年12月21日～平成28年12月20日

【同意 全員賛成】

○人権擁護委員の推薦同意

潮見 博司氏 (郷之口)

矢野登代子氏 (南)

任期 法務大臣から委嘱された日から3年

【同意 全員賛成】

宇治田原町自治功労者表彰

12年間、町議会議員として務めた次の5名が、自治功労者として表彰されました。

弦川 孝治氏
森田 木一氏
青山 美義氏
西谷 信夫氏
今西 久美子氏

議会傍聴においでください

次回定例会は3月です。

議会事務局 (TEL88-6641)

までお問い合わせ下さい。

定例会は年4回
(3・6・9・12月)

奥田町長4選出馬の意向は

【答】 近いうちに決断する



垣内 秋弘
議員

【質問】

9月の定例会において、多選について言及され、「4年間の実績の評価は住民の皆様が行ってくれます。4期目の出馬に関しては、しかるべき時期に判断する」と言われたが、いよいよその時期にきている。胸中を率

直に明かしていただきたい。

【答 弁 (町長)】

新名神高速道路の大江津城陽間が凍結解除され、事業着手の運びとなったことをふまえ、山手線の全線建設、国・府道の改良整備についても強力に促進していかねければな



役場庁舎

【答】 事業の選択と集中、改革を推進

予算編成の考え方と重点施策は

【質問】

平成25年度の予算編成にあたり、どのような方向性で組み立てていくのか、基本的な考え方と重点施策は。

【答 弁 (町長)】

第4次まちづくり総合計画に掲げる「心をつなぎ」とともに創る茶文化の

らない。今後の宇治田原の発展にとって大変重要な時期にあたり、私自身この時期に何をすべきか真剣に考えているところ

である。今日まで支えていただいた方々と目下協議中で、近いうちに決断させていきたい。

まち」の実現に向け、①

住民との協働によるまちづくりの推進②住民目線・生活者の視点を重視した施策、次代を切り拓く施策の展開③自主・自立の財政基盤の確立の3つの視点を柱に「安心・安全」「地域福祉対策」「健康長寿」「子どもを育

む」「産業・観光」「環境」など6つのプロジェクトを掲げ、まちの活力を生み出し、次代を切り拓く中長期的な施策を展開したい。

【答 弁 (総務課長)】

【質問】

災害に強いまちづくりの推進及び庁舎の耐震化

現在地域防災計画の見直しを行っている。庁舎の耐震改修は来年度から3箇年をかけて実施、現在、関係機関との協議及び詳細設計を行っている。

通学路危険個所の安全対策は

【答】 今年度実施する



カラー舗装された町道

【質問】

安全点検後、危険箇所の早期の対策を望むが進捗状況と今後の見通し及び通学指導の強化を。

【答 弁 (建設課長)】

カラー舗装が延べ約

5500m、路面表示14箇所、カーブミラー設置7箇所、看板設置9箇所の対策を今年度を実施する。安全指導は、日常の危険予知を含め、交通安全教育の徹底をはかる。



安本 修
議員

福祉バスの土曜運行を

【答】今後の検討課題とする



コミュニティバス

【質問】住民の足を確保するために、福祉バスの運行ルートの拡充等、頑張っていたいただいているが、さらに充実させるべきだと考えるが、どうか。特に町、または、各種団体主催のイベントや講演会等が土曜日に集中することが多い。土曜日にも運行できないか。

さらに、奥山田川上地域および木元地域へのコミュニティバスの運行ができないか。

【答 弁（企画課長）】

福祉バスは、平成19年度に第一次の見直しとして、増車増便し、1ルートから3ルートに、平成24年度に第二次の見直しとして、南（切林）や岩山（隠谷）への乗り入れ

など、住民の足の確保の充実に努めてきた。土曜日の運行については、今後の検討課題としたい。またコミュニティバス

の川上、木元地域の運行 図り、協議検討していく。

山手線ルートの見直しが必要では 【答】事業化の段階で検討も必要



渋滞する国道 307 号

【質問】

都市計画道路 路山手線の整備は町長の大 きな公約であり、どのよう に進めていく のか。また新 名神建設との 関係で、具体的 な進展はある のか。さらに山手線は20 年前に現町道 と平面交差す

る計画となっており、地域を南北に分断することになるため、当時、自治会からもルートの見直し要望が出された経緯もある。ルートの見直しが必要だと考えるが、どうか。

【答 弁（建設課長）】

京都府に対して来年度から山手線の整備のための調査を入れるようお願いしている。また、禅定寺地域で新名神と交差する箇所があり、新年度には山手線の整備の協議が進むと考えている。さらに、山手線は、平成3年に都市計画決定されているため、事業化の段階で現町道との交差部への乗り入れが適切かどうか検討も必要ではないかと考えている。

クラスを分け少人数での保育を

【答】国基準に基づき配置する

【質問】

来年度の保育所の申請者数と、クラス編成についての考えは。現在、待機児童はどのくらいいるのか。

【答 弁 (福祉課長)】

現在の申請者数は次の通り。年度途中での入所

年齢	人数
0歳	6名
1歳	27名
2歳	36名
3歳	32名
4歳	42名
5歳	37名
計	180名

見込みもふまえクラス編成を検討している。

待機児童について、本年度は、低年齢児で入所相談を受けた5名程度の方々に、入所の延期をお願いした。

【質問】

幼児は30人を超える場合、クラスを2つに分けて少人数学級とし、担任には正規職員を配置すべき。乳児は建設当初の定員の2〜3倍の子どもたちが入所をしている。クラス編成は、子どもの状態もしっかりと見て十分に検討を。こんな小さなまちで待機児がいること自体が問題。待機児をきちんとカウントし、増設や増築も含め、解消のための対応策を考えるべき。

【質問】

8月の豪雨でくつわ池が決壊し、通行止めが続いている。危険であるとともに、公園の営業にも支障をきたしている。復



今西久美子 議員

【答】林道は4月完成をめざす

くつわ池の早期復旧を

旧計画は。

【答 弁 (産業振興課長)】

被害箇所は、林道末山線であり、災害復旧事業の査定を受けて事業の採択をいただいた。

【答 弁 (福祉課長)】

職員は、国基準に基づき配置し、臨機応変な対応をしている。来年度もそれぞれの状況に応じたクラス編成を行いたい。待機者の把握に努め、優先順位も考慮しながら、的確・公平な対応をしていきたい。

補助金の事務手続き完了後、速やかに災害復旧事業に着手し、春の行楽シーズンまでの完成をめざしたい。

【質問】

池自体の機能回復は。

【答 弁 (産業振興課長)】

被災前と同様の貯水力を有する溜め池としての復旧は無理であり、くつわ池というネーミングを生かした親水公園として

【質問】

林道整備後、早急に池の機能回復を。

【答 弁 (産業振興課長)】

今後、林道の復旧を一日も早く完成し、その後、公園整備について全力で早急に取り組んでいきたい。



決壊したくつわ池



保育所発表会



山内実貴子
議員

地方版子ども・子育て会議の設置を

【答】国の基本指針をふまえ検討

一般質問

【質問】 本年8月、自民・民主・公明3党の修正合意により、子ども・子育て支援法が成立。様々な保育に對し国の財政支援がなされる。その実施に向け、子育て当事者をメンバーに含む「地方版子ども・子育て会議」の設置が必要では。

【質問】



まいまいヨチヨチ広場

【答 弁 (福祉課長)】 本法律の成立を受け、国が定めた基本方針に即して市町村子ども、子育て支援事業計画を策定し、平成27年度から本格実施をしていく予定。本町では、既存の次世代育成支援対策協議会の内容を充実し活用する等、検討していく。

【答 弁 (福祉課長)】

【質問】

今回の制度により全ての自治体が事業計画を策定しなければならない。平成27年度からの本格施行に向け平成25年度予算において、二一ズ調査等のための経費を計上する必要があると考えるが。

【答 弁 (福祉課長)】 国が示す内容をもとに、本町の平成25年度予算編成の中で議論していく。

【質問】

子育て支援に関する二一ズは様々。親の就労の有無に関係なく利用できる「認定子ども園」という施設も一つ。今回国の財政支援で、小規模保育や保育ママなど家庭内保育も推進される中、「工業団地に企業内保育を」との声もある。本町の子育て支援拡充

の取り組みは。

【答 弁 (福祉課長)】

町立保育所以外では、マンパワー的に、ファミリーサポート事業を実施している。企業内保育所の推進や保育ママ制度など地域全体で子育てを推進することは重要と考える。今後も子育て支援の人材育成や事業所への啓発等に取り組み。

【質問】

本町で取り組んでいるはじめての絵本事業。保健センターでの乳児後期健康相談で絵本の必要性や大切さを伝える中、ぜひ、赤ちゃんとその保護者に実際に絵本をプレゼントするファーストブックプレゼントを行っていただきたい。

【答 弁 (教育課長)】

本を通じて感性豊かな子ども達を育てるための、更なる図書館の充実に努めていく中で、今後検討していきたい。



クリスマスおはなし会



インフラ整備を望む企業

地域の経済雇用情勢は大変厳しい状況にあ

【答 弁(町長)】

要では。

援策の拡大が必

小零細企業の支

ラ整備同様、中

迎える。インフ

年3月に期限を

のため、平成25

化法も時限立法

中小金融円滑

【質問】

ていく。

的施策を積極的に推進し

や産業を元気づける投資

備や企業誘致、地域経済

関連道路網のインフラ整

再開を好機ととらまえ、

【答】投資的施策を積極的に推進していく

インフラ整備に財政出動を



原田周一 議員

る。中小企業等の支援、産業・経済・雇用の活性化

化施策を推進する。

国民健康保険にかかる医療費の推移は

【答】約1.2億円の給付増が見込まれる

【質問】

2000年以降、社会

保険収入は伸びていな

い。団塊世代の高齢化率

の急速な上昇が見込ま

るが。

【答 弁(戸籍・保険課長)】

60歳から64歳までの

年齢階層は、本町の人口

構成において最も多い。

ピークの平成16年以降

の人口動態に基づき、現

在のペースで人口減少を

仮定すると、5年後の人

口は約9,600人、7

年後は約9,480人と

推定。70歳以上は5年

後に1,790人、全体

比18.65%、また、7

年後には1,940人、

20.46%と、それぞれ約

1.9%、3.7%の増と

推定。

【質問】

国民健康保険における

医療費の今後の推移をど

のようにみているのか。

【答 弁(戸籍・保険課長)】

平成27年には4億9千

万円、31年には約5億8

千万円程度。65歳以下

の医療費を加えると、全

体で約8億から9億円の

医療費総額となり、現在

と比較して、約1億から

2億円程度の給付費の増

額が見込まれる。

【質問】

保険事業は今後どのよ

うに取り組まれるのか。

【答 弁(健康長寿課長)】

健やかうじたわら21プ

ランの推進と、自分自身

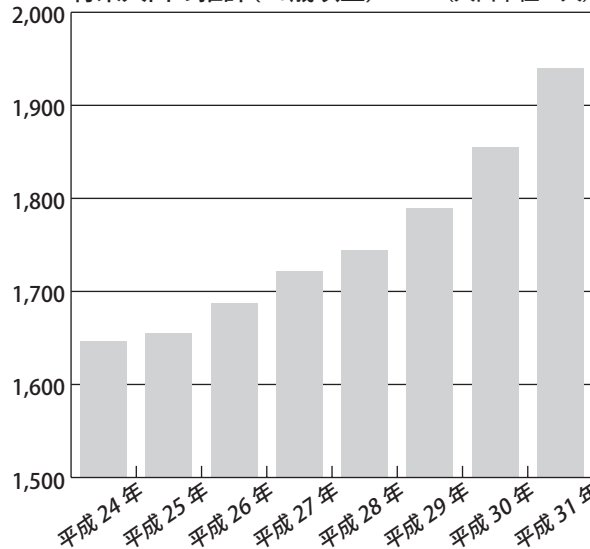
の健康内容を把握し、重

症化予防や、生活習慣病

に重点を置いた取り組み

を行う。

将来人口の推計(70歳以上) (人口単位:人)



平成 24 年	1,647
平成 25 年	1,655
平成 26 年	1,688
平成 27 年	1,722
平成 28 年	1,745
平成 29 年	1,790
平成 30 年	1,855
平成 31 年	1,940



稲石 義一
議員

歳出規模を大きくしては

【答】積極的な財政出動を行う

【質問】

財政指標の中で、標準

財政規模に対する決算規模の比率が府内25市町村中最下位であり、また、投資的経費の決算額も23番目に小さい。町の活性化を図るために投資的経費を拡大し、4億円程度財政の規模を大きくしてはどうか。

【答弁（財政課長）】

的を得た貴重な意見であり、町の活力を生み出し、財政面でも新たな自主財源の創出につながる

	普通会計決算額(A)	標準財政規模(B)	(A)／(B)
福知山市	40,896,259	23,773,849	1.72
舞鶴市	34,796,132	20,085,203	1.73
綾部市	15,894,591	9,611,672	1.65
宇治市	60,283,229	33,710,203	1.79
宮津市	11,926,324	6,450,448	1.85
亀岡市	32,809,597	18,377,285	1.79
城陽市	25,612,601	14,515,554	1.76
向日市	16,947,850	10,304,853	1.64
長岡京市	24,903,317	15,020,406	1.66
八幡市	24,659,160	14,204,232	1.74
京田辺市	20,971,628	13,341,074	1.57
京丹後市	33,109,205	20,768,885	1.59
南丹市	22,893,534	14,780,303	1.55
木津川市	23,831,157	15,853,069	1.50
大山崎町	5,635,786	3,604,286	1.56
久御山町	6,622,092	4,464,479	1.48
井手町	3,566,798	2,645,562	1.35
宇治田原町	3,714,066	2,755,485	1.35
笠置町	1,315,989	874,714	1.50
和東町	3,032,475	2,148,548	1.41
精華町	11,847,287	7,670,632	1.54
南山城村	2,433,086	1,710,014	1.42
京丹波町	11,262,466	7,372,818	1.53
伊根町	2,642,654	1,613,307	1.64
与謝野町	11,609,301	7,557,027	1.54
14市計	389,534,584	230,797,036	1.69
町村計	63,682,000	42,416,872	1.50
市町村計	453,216,584	273,213,908	1.66

平成23年度府内市町村普通会計決算状況

未来への投資的な経費に

ついては、積極的な財政

【質問】

財政調整基金の現在高が13億6千万円となっており、標準財政規模の約50%である。年度間の財源不均衡調整を果たす基金としては少し多いように思うが、いかがか。

【答弁（財政課長）】

基金の積立基準については、国や府から明確なもの示されていないが、府内の平均比率であ

る3割から4割程度が適正な水準ではないかと考えている。このことから

今後の投票率向上対策は

【答】さらなる工夫で充実を図りたい

【質問】

今回の町議選の投票率は、前回の71・7%から66・4%と5・3%も低下した。近年の投票率低下をどのように食い止

め、どのような向上策を講じていくのか。

【答弁（選管事務局長）】

全国的に若年層の投票率が低い傾向にあり、このことを踏まえ、児童・生徒を対象とした啓発ポスターや啓発標語の募集をはじめ、新成人による模擬投票などを実施している。今後の選挙広報については、若年層への情報発信ツールとして新た

すると、現在の基金残高は少し余裕がある状況といえる。

にインターネット等の活用も検討しながら、さらなる工夫により投票率の向上に努めたい。

【質問】

本町では年齢別投票状況の実態把握をされている方向で取組みたい。

ないが、どの年齢層が議会に関心がなく、政治離れが進んでいるのかを把握することは投票率の向上対策を講じる上で大変重要である。今回の衆議院議員総選挙から実施されてはどうか。

【答弁（選管事務局長）】

実態把握の方策を検討する中で、今回の衆議院議員総選挙から年齢別投票状況を把握し、公表する方向で取組みたい。



成人式での模擬投票

やる気満々！ 12人からのひとことメッセージ

(議席順)



奥村 房雄

『親切第一』をモットーに行
政へのパイプ役として、一万住
民皆様の目線で見て、考え、行
動します。『おっさんパワー全
開中』よろしくお願ひします。



今西久美子

みなさんといっしょに、ふ
るさと宇治田原をもっと住みよ
い街に！子育て支援の充実、
年老いても安心して過ごせる街
づくり、全力でがんばります。



垣内 秋弘

住民の皆様の声を町政に反映
し、「明るく・住みよい・調和の
取れた」安心・安全なまちづく
りをめざし、行政へのパイプ役
として全身全霊で頑張ります。



内田 文夫

新議会の一員となりました。
皆様のご期待にこたえるよう、
本年は巳年、信頼を得る議会に
脱皮すべく、真摯に取り組みた
いと思ひます。



原田 周一

工業団地の臭気の問題解決
スクールサポーターの導入等々、
多岐に渡り取り組みました。二
期目は、高齢者福祉、教育を主
眼に、行動力で取り組みます。



上林 昌三

緑豊かな茶文化のこの町が大
好きです。新町長をはじめ、行
政と議会が協調し、町が元気に
なるよう老兵に鞭を打ち、『切
磋琢磨』します。よろしく。



稲石 義一

新人議員として住民の負託に
応えられるよう全力を尽くしま
す。また、文教厚生常任委員長
の職を全うし、委員会中心の議
会運営を推進します。



谷口 重和

老若男女が住んでよかった、
幸せと安心安全に暮らせる心豊
かな理想の故郷創りに、積極的
に議会活動を展開し、粉骨砕身
の境地でがんばります。



青山 美義

昨年の町議選で四選を与えて
いただきました。初心に返り、
安心・安全で、災害に強い町づ
くりをめざし、誠心・誠意、取
り組んでまいります。



田中 修

地方分権が進む中、初心を忘
れずに議会改革及び活性化を推
進し、住民の皆様からより信頼
される議会運営に努めてまい
ります。



山内実貴子

皆様のお力で、議会へと送り
出させていただきました。お一人
お一人の声を大切に、笑顔輝く
町づくりをめざしがんばりま
す。



安本 修

住民皆様の様々な要求を
しっかりと受けとめ、実現めざ
し取り組みます。また行政を
チェックする議員本来の役割を
果たすためにがんばります。

新成人代表

とやま ゆうすけ 外山 雄介さん



1月13日に、さざんかホールで行われた宇治田原町・成人式。新成人代表であいさつされた外山雄介さんにインタビューしました。

Q) 20才になった感想は。

A) (両親と離れて暮らしてみても) 自分なりに成人として感謝の気持ちでいっぱいです。この気持ちを忘れずにいたい。

Q) 趣味は。

A) 本を読むこと。大学に入学直前まで全く縁がなかったのですが、姉にすすめられ読んだ本がおもしろくて、どんどん読むようになりました。また、友人と哲学の話をするのが一番楽しい。

Q) 選挙権を持つことに対しては。

A) 若者に意思表示が求められている時代。投票は義務と考えます。

Q) 宇治田原町への思いは。

A) 生まれ育ってきた何ものにもかえ難いところ。

Q) 将来の夢はなんですか。

A) 学者になりたい。大学で学んでいる経済学を通して日本の景気回復、また開発途上国の発展を考えていきたい。

Q) 議会に期待することは。

A) これからの社会をつくるのは自分たち。若者が住みたいと思える町づくりを。またもっとお茶の町としてのPRが必要。一発のイベントではなく、安定して町を盛り上げていけるような毎日がイベントというような考えが必要だと思います。



一筆に思いをこめて



年越し手揉み(宗圓生家)



出初め式(婦人防火クラブ・禅定寺)



縁たたき(高尾地区)



今号の表紙

同級生との再会を喜び記念写真を撮るお馴染みの光景。

次代を担うホープさんに期待します。(奥村)

編集後記

新委員による発刊第1号です。

4月には議会基本条例が施行されます。15条に、情報を積極的に公表すると明記されています。

多くの皆様が議会に関心をもつていただけるよう努めていきます。ご意見、ご感想をお寄せください。

広報編集委員長 原田



広報編集委員

